

3 特別活動・環境部会の取組

(1) 縦割り活動

6年生を中心に金曜日の朝の時間を利用し、6年生が活動の計画を立て、1年生から6年生が遊び等を通して一緒に関わることができる活動を実施している。また教科・領域等の中で6年生から5年生への「マーチングの引き継ぎ」、4年生から3年生への「総合学習での取り組み発表会」、2年生から1年生への「遊びランドへようこそ」がそれぞれペア活動として行われた。

「マーチングの引き継ぎ」では、1つの楽器を根気よく努力してきた6年生にとって、「教える」ということ自体がそれまでの努力や達成感・伝統を後輩へ伝えることになる。また5年生にとっては、自分の中の憧れを6年生と接することで尊敬の気持ちへと変え、これからは自分たちが最高学年になるんだという自覚をもつことにつながっている。

「取り組み発表会」では、4年生が調べたことを3年生に発表することで、下学年に分かりやすく伝えるためにどうすればよいかを考えながらまとめる姿が見られた。その発表を聞いた3年生は、福祉に対する考え方を深め、自分も4年生になったら頑張ろうという気持ちも芽生えていた。

自分より幼い子との関わりの場として「一緒に遊ぶ休み時間」や「生活科の遊びランド」などを設けることで、2年生にとっては相手意識をもてるようになり、1年生は一緒に遊ぶことで学校での遊び方などを学ぶこと、上級生と関わりをもつことができた。



5・6年 マーチング指導・練習



3・4年 取組発表会



1・2年 遊びランドへようこそ

(2) 学級会活動との関わり



小集団での話し合い



全体での話し合い

計画委員会による児童主体の話合い活動として、6年生ではテーマを提案し、子どもたちを中心に話合い活動を行った。事前の指導で、ワークシートに自分の意見を記入させておくことで、その意見を明確にし、計画委員がスムーズに進行できるようにしておく。そのため、小集団での話合いの場面において、自分の思いや考えを相手に伝えよう、小集団の中での話をまとめようと話し合いを深めていた。学級全体での話合いの場面になると、児童それぞれが積極的に挙手をし意見を述べ、その意見に対して自分の思いや考えを伝え合う姿や、クラスをよりよくしようとする姿が見られた。

(3) 美化活動

5・6年生の美化委員が中心となり、緑の少年団の活動の一環として学校の花壇の整備を日常的に行い、春と秋に苗植えを行うことで「花いっぱい」の学校づくりに取り組んできた。学校園だけでなく、それぞれの学年園でも「花いっぱい」に取り組んだことで、子ども自身がその花をしっかりと育てあげようとする姿が見られた。また、学校全体で校庭や花壇をきれいにしようとする環境集会も行っている。このことから、自分たちの学校を自分たちできれいにしようとする思いをもち、学校への愛着心を高めることにつながった。



「花いっぱい」の学校づくり